

NPO法人福岡県防犯設備士協会の活動 「防犯性の高い賃貸集合住宅の普及を目指して」



NPO法人福岡県防犯設備士協会
理事長

岸田 晃

この度の東日本大震災により被災された皆様に謹んでお見舞い申し上げます。

当協会も各地域協会の皆様と同じ背景で、平成9年に設立しました。生活安全産業に携わる各事業所と防犯設備士が中心となり、県警察本部と緊密に連携協力して地域安全活動を支援しています。

県警察本部の警察活動と我々防犯ボランティア団体の活動が相俟って福岡県の刑法犯の認知件数は平成23年上半期で、9年連続減少しています。

しかし、県警察本部によると罪種別では性犯罪が前年比34.8%と大幅に増加しており、特に、福岡県内では集合住宅で多く発生しています。低家賃を重視するあまりに、防犯性が配慮されていないのが原因のひとつではないかと思います。

このことから、防犯賃貸集合住宅の防犯性を向上させ、入居者が安心できる住環境を整備することを決意し、この度、県新社会推進部と県警察本部のご指導と支援を受けて「セキュリティ・アパート認定制度」をスタートさせました。

この制度では「優良防犯マンション認定制度」審査基準に準拠し、「室内に侵入しにくい設備の設置はもとより、「万が一、侵入された場合に屋外に危険を知らせる警報装置の設置」などを策定し専用部のセキュリティにも重点を置きました。

基準を満たした建物には防犯プレートを交付します。（金色に輝く防犯プレートは当協会自慢の物です。）防犯プレートを貼付することにより、犯罪企図者に犯行を断念させる抑止効果を期待しており、この制度が当協会の継続事業として、会員事業所の業務の活性化につながればと思っています。

また、この制度が普及することにより入居者が安全で安心して暮らせることと確信しております。

皆様、ご期待ください。

